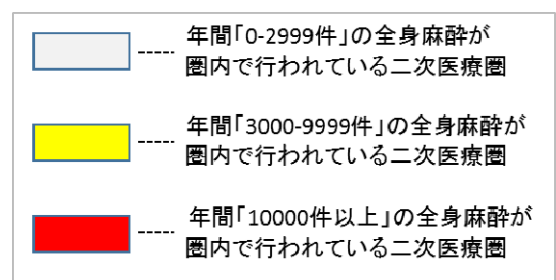
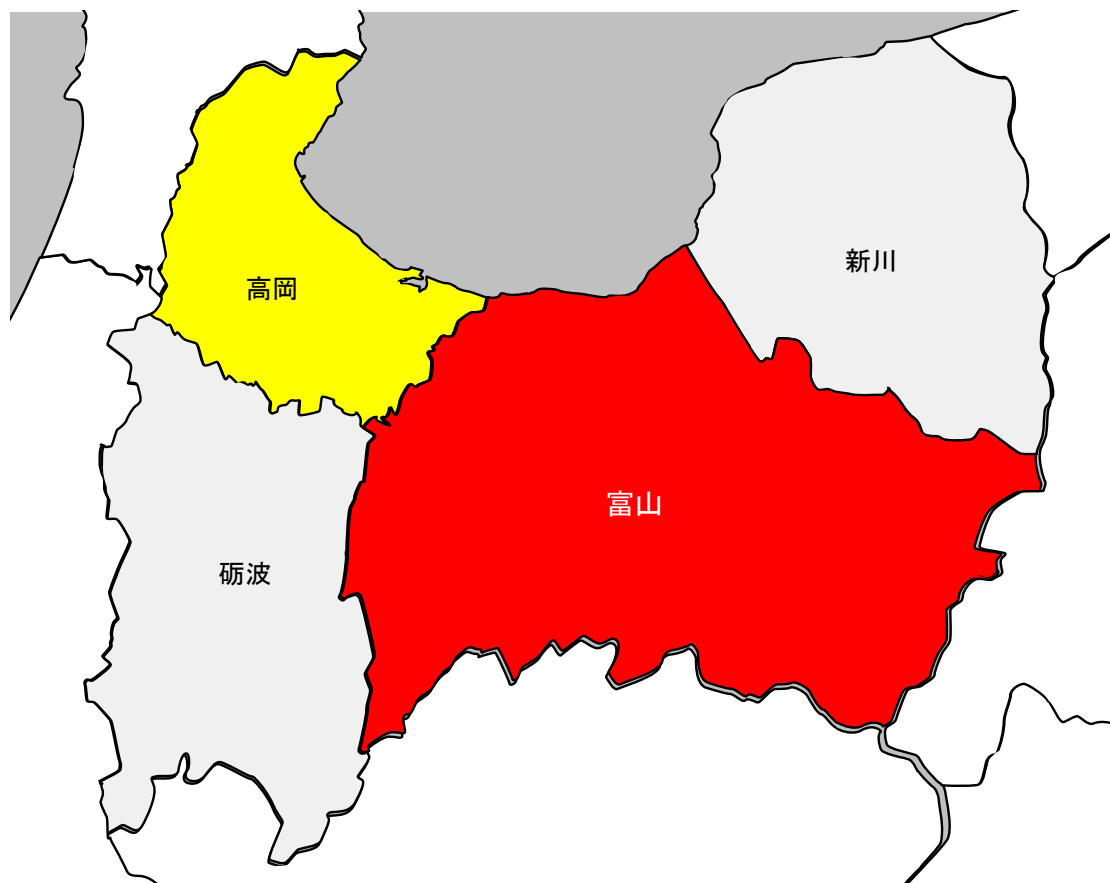


16. 富山県



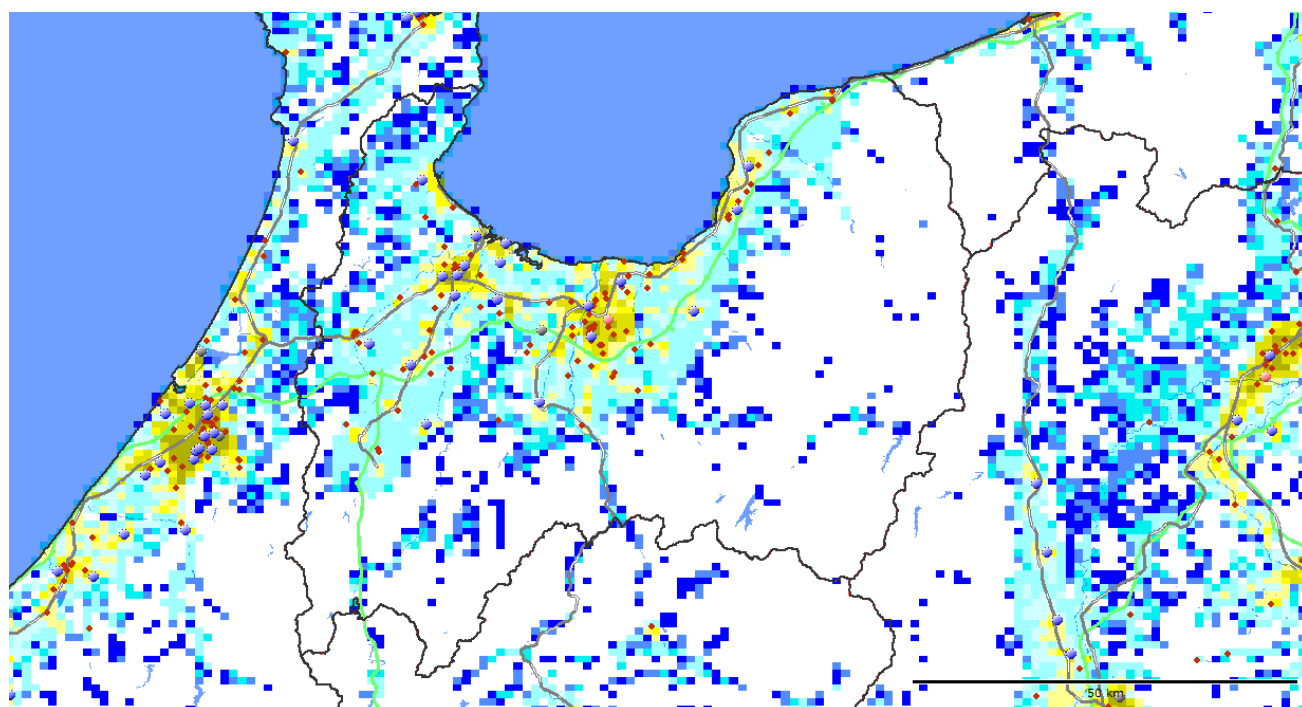
16. 富山県

目次

富山県.....	16 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	16 - 7
1. 新川医療圏.....	16 - 19
2. 富山医療圏.....	16 - 23
3. 高岡医療圏.....	16 - 27
4. 砺波医療圏.....	16 - 31

16. 富山県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 富山県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(富山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富山県は、総人口約 1064 千人(2015 年推計)、面積 4248 km²、人口密度は 250 人/km²である。

*人口の将来予測： 富山県の総人口は 2025 年に 986 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 841 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 161 千人が、2025 年にかけて 206 千人へと増加し(2015 年比+28%)、2040 年には 190 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富山県の一人当たり医療費(国保)は 335 千円(偏差値 56)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富山県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.84 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 52、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 54 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 47 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 46 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16083 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 12541 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 3542 床(偏差値 40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13409 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 61、特別養護老人ホーム 53、介護療養型医療施設 74、有料老人ホーム 38、軽費ホーム 46、グループホーム 51、サ高住 46 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 38 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 50 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1375 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は13599床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は9500床であり、その差は-4099床(-30%)である。

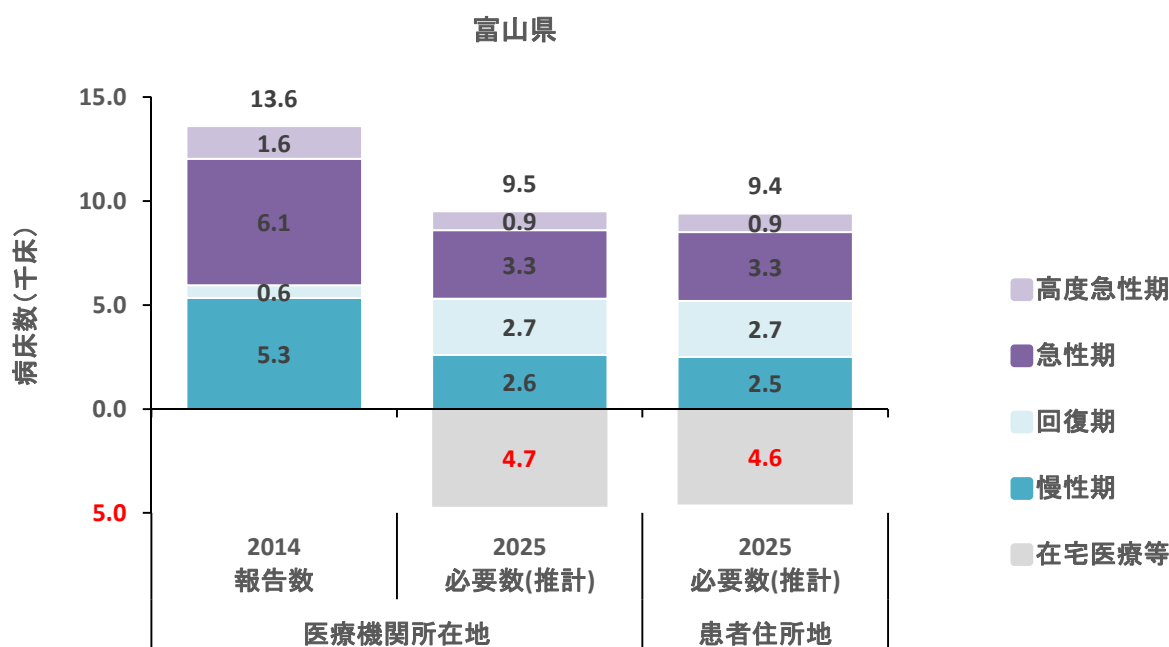
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1564床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は900床であり、その差は-664床(-42%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は6081床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3300床であり、その差は-2781床(-46%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は616床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2700床であり、その差は+2084床(+338%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は5338床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2600床であり、その差は-2738床(-51%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は4700人である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値を掲載している。なお、ガイドラインの推計方法パターンA~Cのうち、何れの方法を用いているかは不明である。http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204/kj00015649.html(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

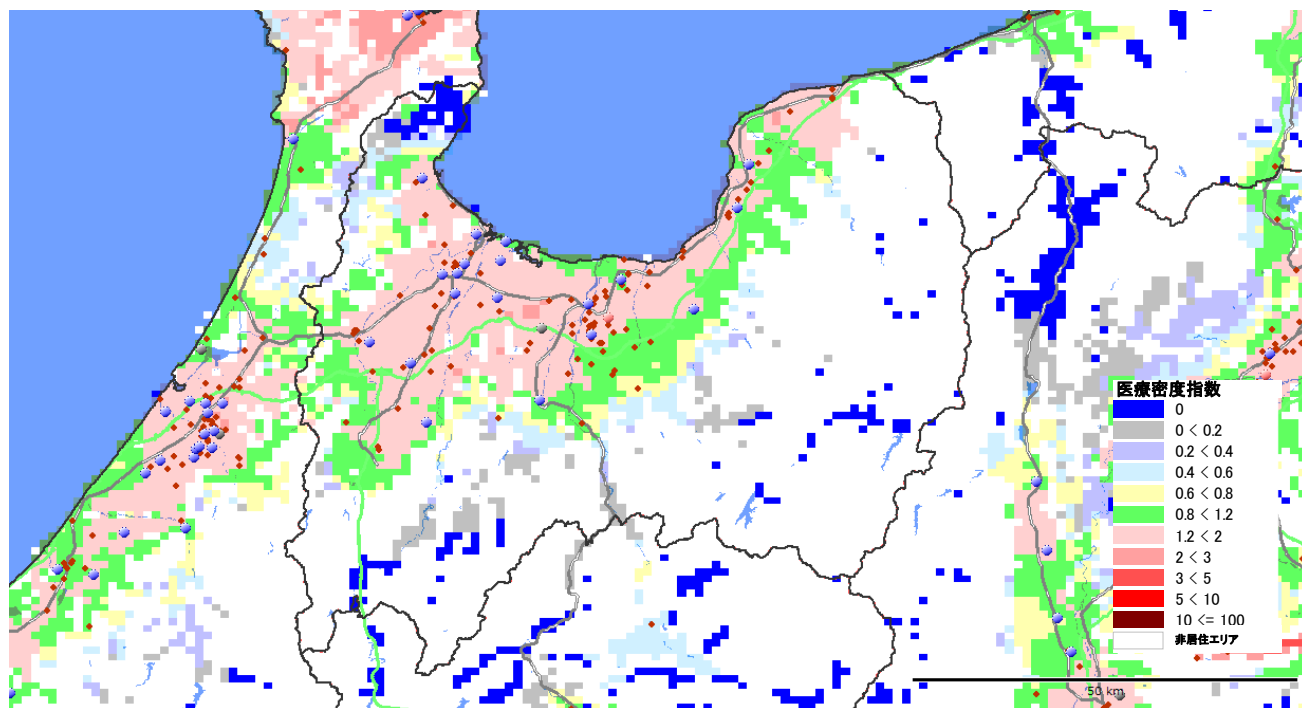
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

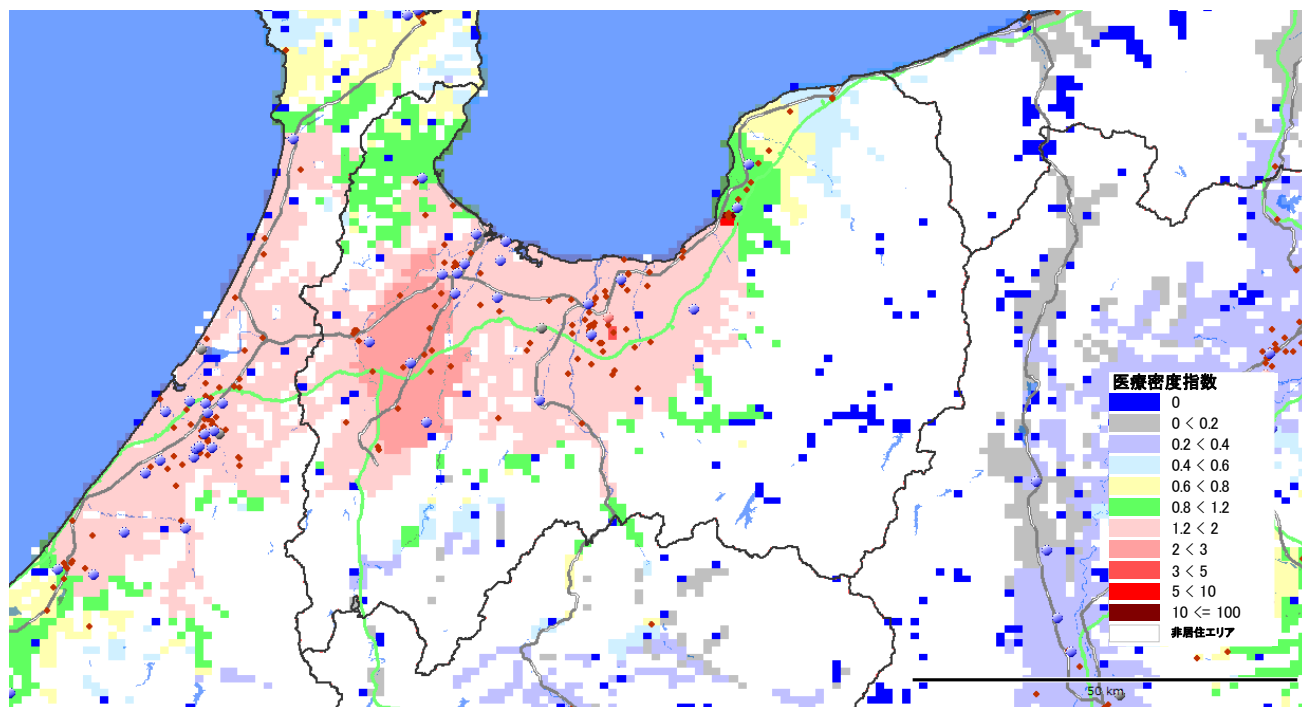
16. 富山県

2. 医療密度⁵

図表 16-1 急性期医療密度指数マップ



図表 16-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 16-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
富山県	1,064	37位	4,248	33位	250.5		31%	986	841	161	206	190	-7%	-15%	28%	-8%
新川	123	12%	925	22%	132.7	過疎地域型	33%	111	92	21	25	22	-10%	-17%	19%	-12%
富山	500	47%	1,844	43%	271.3	地方都市型	29%	473	416	70	92	87	-5%	-12%	31%	-5%
高岡	310	29%	549	13%	564.9	地方都市型	32%	283	235	48	62	55	-9%	-17%	29%	-11%
砺波	131	12%	930	22%	140.7	過疎地域型	33%	119	99	23	27	25	-9%	-17%	17%	-7%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 16-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
富山県	1.29	1.84	10.4%	-14.5%	-5.6%
新川	1.24	2.03	9.4%	-10.1%	1.4%
富山	1.22	1.48	8.8%	-19.5%	-13.4%
高岡	1.42	1.87	-1.2%	-31.6%	-16.8%
砺波	1.29	1.06	11.0%	-5.8%	1.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

16. 富山県

資_図表 16-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
富山県	335	56	279	58
新川	354	61	271	56
富山	348	59	285	59
高岡	333	55	271	56
砺波	335	56	285	59
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 16-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
富山県	109	1.3%	10.2	58	771	0.8%	72	46
新川	14	13%	11.4	61	82	11%	67	44
富山	52	48%	10.4	59	382	50%	76	48
高岡	27	25%	8.7	55	218	28%	70	45
砺波	16	15%	12.2	63	89	12%	68	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 16-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
富山県	771	0.8%	72	46	710	0.8%	67	47	61	0.7%	5.7	48
新川	82	11%	67	44	77	11%	63	45	5	8%	4.1	45
富山	382	50%	76	48	355	50%	71	49	27	44%	5.4	47
高岡	218	28%	70	45	194	27%	63	45	24	39%	7.7	51
砺波	89	12%	68	44	84	12%	64	46	5	8%	3.8	45
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 16-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
富山県	17,013	1.1%	1,599	57	840	0.7%	79	48	17,853	1.1%	1,678	56
新川	2,176	13%	1,774	60	62	7%	51	46	2,238	13%	1,825	58
富山	8,473	50%	1,694	59	359	43%	72	48	8,832	49%	1,765	57
高岡	4,039	24%	1,302	51	346	41%	112	51	4,385	25%	1,414	51
砺波	2,325	14%	1,777	60	73	9%	56	46	2,398	13%	1,833	59
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 16-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
富山県	8,416	0.9%	791	54	5,145	1.6%	484	61	3,346	1.0%	314	52
新川	1,055	13%	860	57	817	16%	666	69	290	9%	236	49
富山	4,083	49%	816	55	2,660	52%	532	63	1,674	50%	335	53
高岡	2,277	27%	734	51	873	17%	281	51	862	26%	278	50
砺波	1,001	12%	765	52	795	15%	608	66	520	16%	397	56
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 16-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期				地域包括ケア			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
富山県	461	0.6%	43	47	429	2.0%	40	51
新川	83	18%	68	52	40	9%	33	49
富山	293	64%	59	50	125	29%	25	48
高岡	49	11%	16	41	168	39%	54	54
砺波	36	8%	28	43	96	22%	73	58
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³ 福井県・石川県・岐阜県・長野県・山梨県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・鹿児島県・沖縄県のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

16. 富山県

資_図表 16-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
富山県	25,752	1.0%	2,420	54	8,736	0.8%	821	49
新川	2,292	9%	1,869	48	972	11%	792	48
富山	13,464	52%	2,691	57	4,404	50%	880	51
高岡	7,332	28%	2,364	53	2,424	28%	782	48
砺波	2,664	10%	2,036	50	936	11%	715	46
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 16-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
富山県	2,744	0.8%	258	50	1,881	0.9%	177	52	863	0.7%	81	45
新川	277	10%	226	46	194	10%	158	49	83	10%	67	40
富山	1,504	55%	301	55	1,060	56%	212	57	444	51%	89	48
高岡	671	24%	216	45	433	23%	140	46	238	28%	77	44
砺波	292	11%	223	46	193	10%	148	48	99	11%	75	43
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 16-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
富山県	10,996	1.0%	1,034	57	9,260	1.0%	870	57	1,736	1.0%	163	53
新川	1,126	10%	918	53	1,010	11%	823	55	116	7%	94	43
富山	5,865	53%	1,172	61	4,824	52%	964	61	1,041	60%	208	59
高岡	2,674	24%	862	51	2,286	25%	737	51	389	22%	125	48
砺波	1,331	12%	1,017	56	1,141	12%	872	57	190	11%	145	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 16-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
富山県	847	0.8%	80	48	2,937	1.0%	276	56
新川	110	13%	89	50	217	7%	177	45
富山	450	53%	90	50	1,812	62%	362	65
高岡	169	20%	54	43	692	24%	223	50
砺波	119	14%	91	51	216	7%	165	44
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 16-13 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
富山県	55	0.4%	0.3	38	10	1.0%	0.1	50
新川	4	7%	0.2	35	1	10%	0.0	48
富山	31	56%	0.4	41	4	40%	0.1	49
高岡	15	27%	0.3	38	4	40%	0.1	54
砺波	5	9%	0.2	36	1	10%	0.0	47
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 16-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
富山県	16,083	1.0%	100	53	12,541	1.3%	78	65	3,542	0.6%	22	40
新川	2,037	13%	99	52	1,739	14%	85	70	298	8%	14	34
富山	7,415	46%	106	57	5,736	46%	82	68	1,679	47%	24	41
高岡	4,416	27%	93	48	3,343	27%	70	59	1,073	30%	23	40
砺波	2,215	14%	97	51	1,723	14%	75	63	492	14%	22	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

16. 富山県

資_図表 16-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
富山県	4,539	1.3%	28	61	5,703	1.1%	35	53	2,299	3.3%	14.3	74
新川	529	12%	26	57	887	16%	43	60	323	14%	15.7	77
富山	2,220	49%	32	68	2,408	42%	34	52	1,108	48%	15.9	78
高岡	1,190	26%	25	56	1,713	30%	36	53	440	19%	9.2	62
砺波	600	13%	26	58	695	12%	30	48	428	19%	18.7	84
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
富山県	41	0.0%	0.3	38	69	0.3%	0.4	46	1,926	1.0%	12.0	51
新川	0	0%	0	37	0	0%	0	43	189	10%	9.2	46
富山	0	0%	0	37	69	100%	1.0	49	666	35%	9.5	47
高岡	41	100%	0.9	38	0	0%	0	43	612	32%	12.9	53
砺波	0	0%	0	37	0	0%	0	43	459	24%	20.1	66
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
富山県	1,506	0.8%	9.4	46	36	0.4%	0.2	47	1,470	0.8%	9.1	47
新川	109	7%	5.3	40	0	0%	0	45	109	7%	5.3	40
富山	944	63%	13.5	53	36	100%	0.5	50	908	62%	13.0	53
高岡	420	28%	8.8	46	0	0%	0	45	420	29%	8.8	46
砺波	33	2%	1.4	34	0	0%	0	45	33	2%	1.4	34
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
富山県	2,102	1.4%	13.1	65	1,857	1.6%	11.5	70	245	0.7%	1.5	41
新川	334	16%	16.3	78	304	16%	14.8	84	30	12%	1.5	40
富山	941	45%	13.5	66	835	45%	11.9	71	106	43%	1.5	41
高岡	502	24%	10.6	55	433	23%	9.1	59	69	28%	1.5	40
砺波	325	15%	14.2	69	285	15%	12.5	74	40	16%	1.7	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （介護施設等）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （在宅）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
富山県	14,784	1.0%	92	52	13,409	1.1%	83	56	1,375	0.6%	8.5	41
新川	1,890	13%	92	52	1,706	13%	83	56	184	13%	9.0	42
富山	6,477	44%	93	53	5,740	43%	82	55	737	54%	10.5	45
高岡	4,365	30%	92	52	4,041	30%	85	57	325	24%	6.8	38
砺波	2,052	14%	90	51	1,923	14%	84	56	129	9%	5.6	36
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
富山県	5,495	0.7%	34	46	2,024	0.6%	13	41	9,487	0.7%	59	41
新川	674	12%	33	45	212	10%	10	38	988	10%	48	37
富山	2,959	54%	42	49	806	40%	12	39	5,188	55%	74	46
高岡	1,470	27%	31	44	502	25%	11	38	2,435	26%	51	38
砺波	392	7%	17	39	504	25%	22	51	876	9%	38	34
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

16. 富山県

資_図表 16-21 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)⁴ — 合計病床数
(高度急性期+急性期+回復期+慢性期)

二次医療圏	2014年 報告数	医療機関所在地		
		2025年 必要病床 数(推計)	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)
全国	1,234,000	1,181,600	-52,400	-4%
富山県	13,599	9,500	-4,099	-30%
新川	1,780	1,780	0	0%
富山	6,983	6,967	-16	0%
高岡	3,357	3,315	-42	-1%
砺波	1,765	1,765	0	0%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」			

資_図表 16-22 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計) — 高度急性期病床数

二次医療圏	合計病床数		高度急性期病床数				
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)
全国	1,234,000	1,181,600	191,000	15.5%	130,300	-60,700	-31.8%
富山県	13,599	9,500	1,564	11.5%	900	-664	-42.5%
新川	1,780	1,780	0	0.0%	0	0	0.0%
富山	6,983	6,967	1,497	21.4%	592	-905	-60.5%
高岡	3,357	3,315	51	1.5%	7	-44	-86.3%
砺波	1,765	1,765	16	0.9%	16	0	0.0%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」						

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値を掲載している。なお、ガイドラインの推計方法パターンA～Cのうち、何れの方法を用いているかは不明である。http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204/kj00015649.html(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。
合計病床数には無回答が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

資_図表 16-23 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)⁵ — 急性期病床数

二次医療圏	合計病床数		急性期病床数				
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)
全国	1,234,000	1,181,600	581,000	47.1%	400,600	-180,400	-31.0%
富山県	13,599	9,500	6,081	44.7%	3,300	-2,781	-45.7%
新川	1,780	1,780	958	53.8%	70	-888	-92.7%
富山	6,983	6,967	2,107	30.2%	921	-1,186	-56.3%
高岡	3,357	3,315	2,156	64.2%	660	-1,496	-69.4%
砺波	1,765	1,765	876	49.6%	597	-279	-31.8%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」						

資_図表 16-24 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計) — 回復期病床数

二次医療圏	合計病床数		回復期病床数				
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)
全国	1,234,000	1,181,600	110,000	8.9%	375,200	265,200	241.1%
富山県	13,599	9,500	616	4.5%	2,700	2,084	338.3%
新川	1,780	1,780	83	4.7%	83	0	0.0%
富山	6,983	6,967	378	5.4%	360	-18	-4.8%
高岡	3,357	3,315	135	4.0%	175	40	29.6%
砺波	1,765	1,765	36	2.0%	151	115	319.4%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」						

⁵必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値を掲載している。なお、ガイドラインの推計方法パターンA～Cのうち、何れの方法を用いているかは不明である。http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204/kj00015649.html(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。

合計病床数には無回答が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

16. 富山県

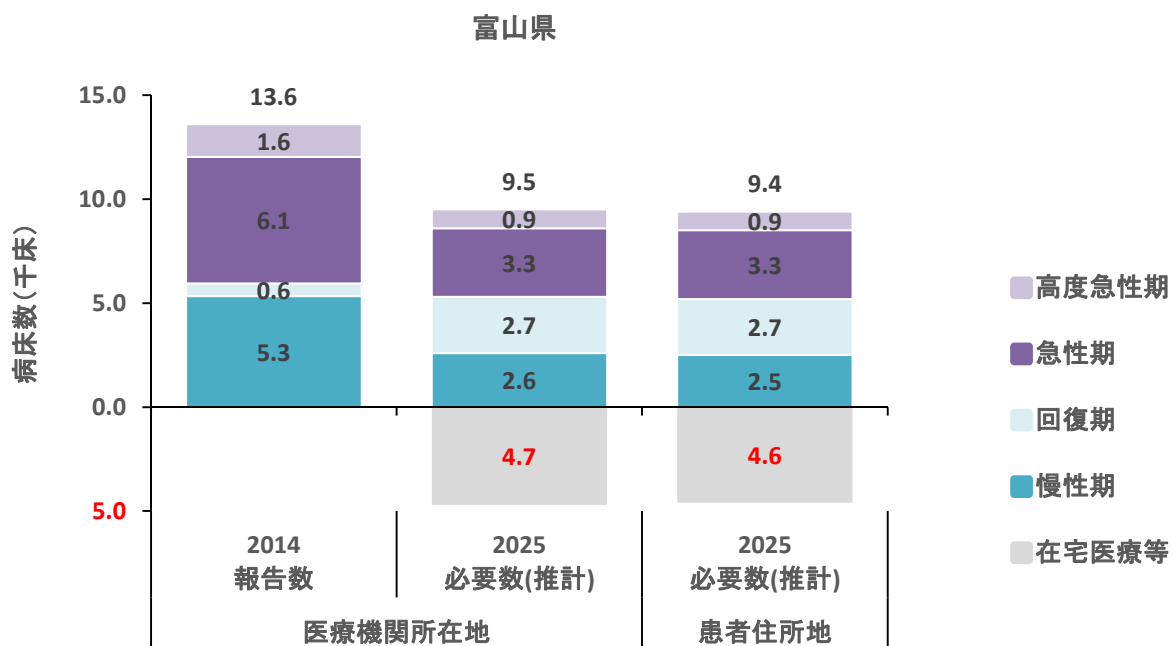
資_図表 16-25 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)⁶ — 慢性期病床数

二次医療圏	合計病床数		慢性期病床数				
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)
全国	1,234,000	1,181,600	352,000	28.5%	275,500	-76,500	-21.7%
富山県	13,599	9,500	5,338	39.3%	2,600	-2,738	-51.3%
新川	1,780	1,780	690	38.8%	275	-415	-60.1%
富山	6,983	6,967	2,949	42.2%	1,606	-1,343	-45.5%
高岡	3,357	3,315	928	27.6%	351	-577	-62.2%
砺波	1,765	1,765	775	43.9%	439	-336	-43.4%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」						

⁶必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値を掲載している。なお、ガイドラインの推計方法パターンA～Cのうち、何れの方法を用いているかは不明である。http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204/kj00015649.html(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

資_図表 16-26 病床機能報告制度報告数と 2025 年必要病床数(推計)(再掲)



16. 富山県

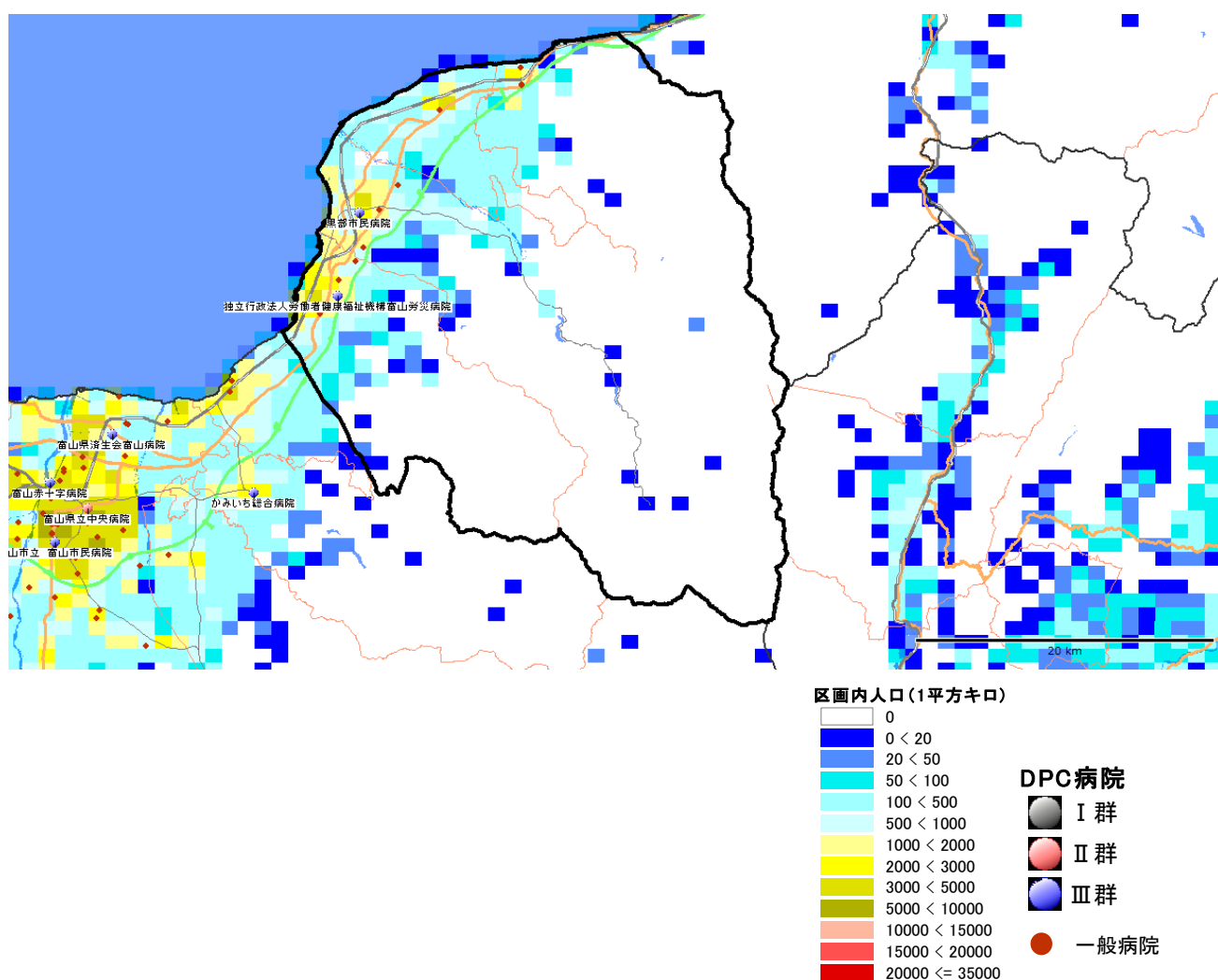
資_図表 16-27 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
富山県	7,699	6,963	98	9,243	1,493	5,081	82.3%	62	1.9%	47
新川	913	899	0	1,238	156	792	85.2%	64	0.0%	46
富山	3,758	3,433	0	4,585	698	2,627	83.1%	63	0.0%	46
高岡	1,702	1,630	0	2,421	639	965	71.8%	58	0.0%	46
砺波	1,326	1,001	98	999	0	697	100.0%	70	12.3%	51
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

16-1. にかわ 新川医療圏

構成市区町村¹ 魚津市,黒部市,入善町,朝日町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 新川医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(新川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：新川(魚津市)は、総人口約123千人(2015年推計)、面積925km²、人口密度は133人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：新川の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に92千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には22千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：新川の一人当たり医療費(国保)は354千円(偏差値61)、介護給付費は271千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：新川の一人当たり急性期医療密度指数³は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は2.03で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が46(病院医師数49、診療所医師数40)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。新川には、年間全身麻酔件数が1000例以上の黒部市民病院、500例以上の富山労災病院がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：新川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2037人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1739床(偏差値70)、高齢者住宅等が298床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1706人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設77、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住40である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、184人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

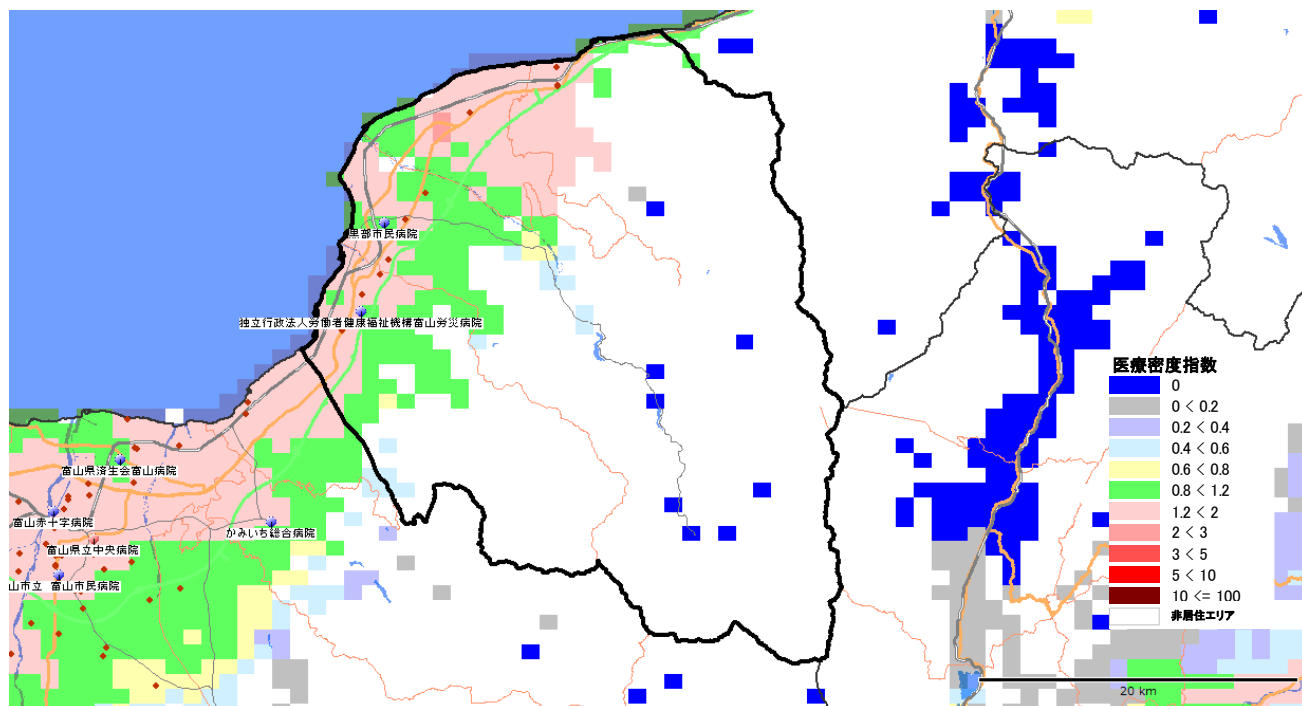
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

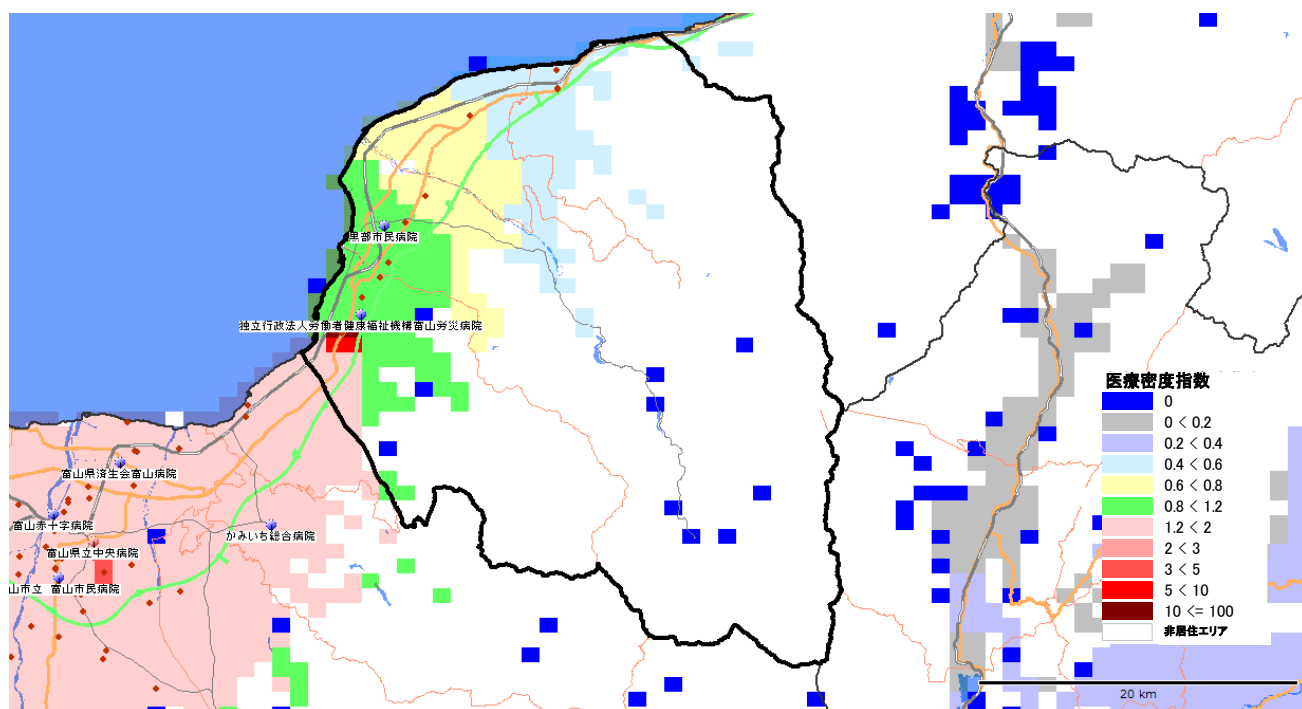
16. 富山県

2. 医療密度⁵

図表 16-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 16-1-2 慢性期医療密度指数マップ

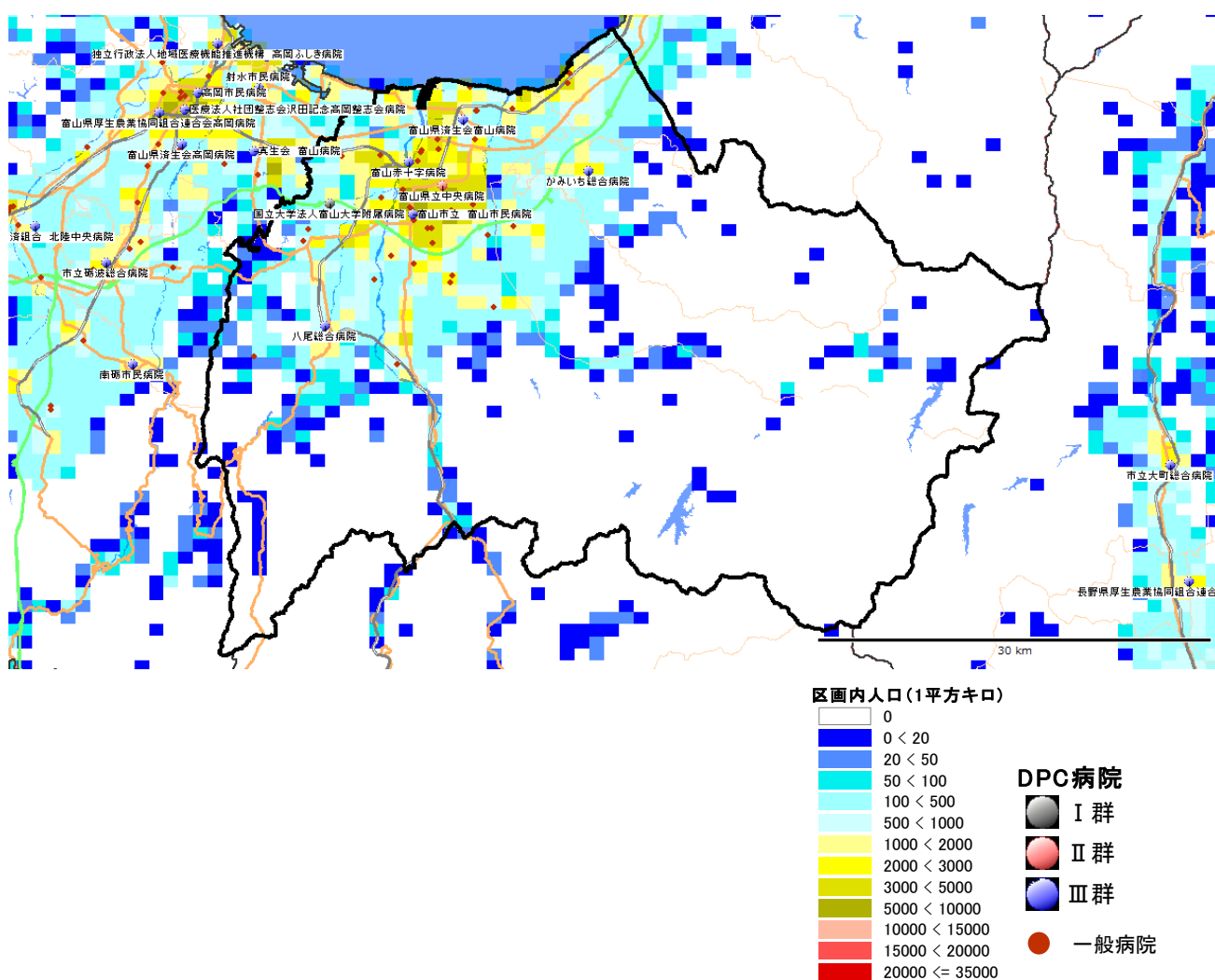


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

とやま 16-2. 富山医療圏

構成市区町村¹ 富山市,滑川市,舟橋村,上市町,立山町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先へ移動します。

² 富山医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(富山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富山(富山市)は、総人口約 500 千人(2015 年推計)、面積 1844 km²、人口密度は 271 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富山の総人口は 2025 年に 473 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 416 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 70 千人が、2025 年にかけて 92 千人へと増加し(2015 年比+31%)、2040 年には 87 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富山の一人当たり医療費(国保)は 348 千円(偏差値 59)、介護給付費は 285 千円(偏差値 59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富山の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.22、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.48 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 55(病院医師数 57、診療所医師数 48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 57 と多い。富山には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の富山県立中央病院(Ⅱ群・救命)、富山大学附属病院(Ⅰ群)、1000 例以上の富山市民病院、富山赤十字病院、500 例以上の富山県済生会富山病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 50 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 53 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7415 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 5736 床(偏差値 68)、高齢者住宅等が 1679 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5740 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 68、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 78、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 49、グループホーム 47、サ高住 53 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、737 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

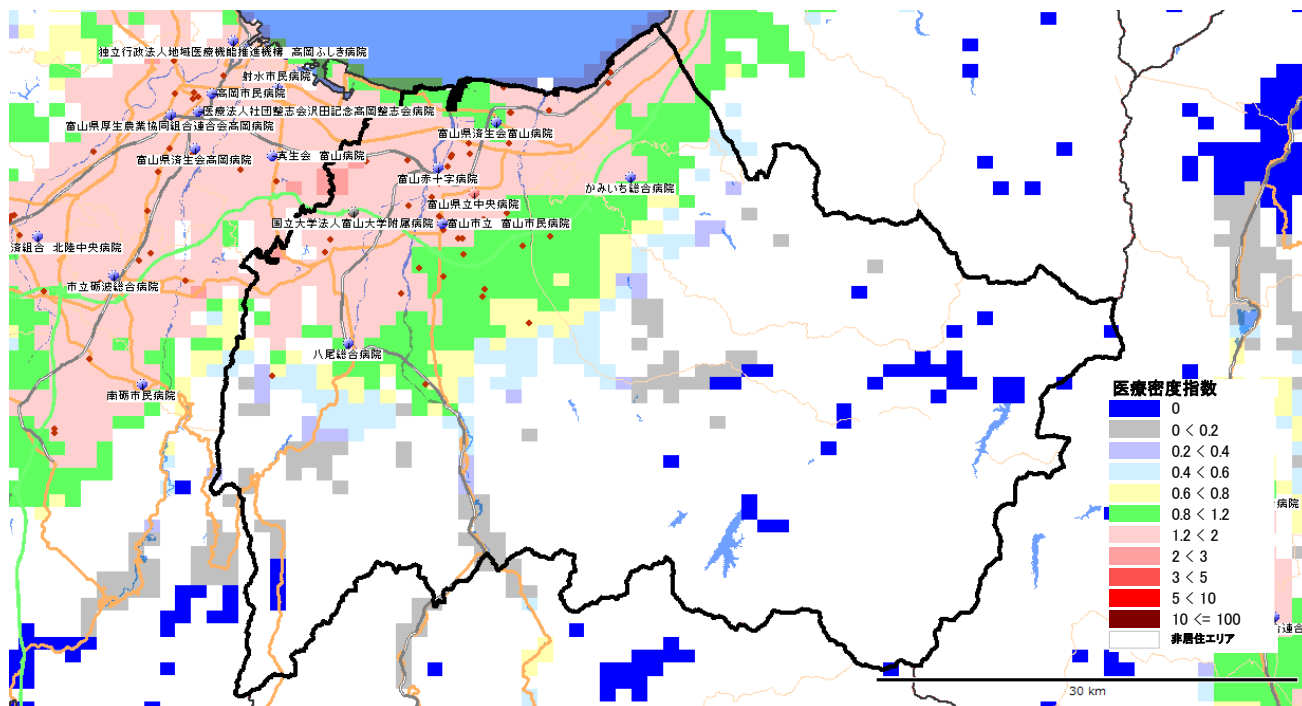
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

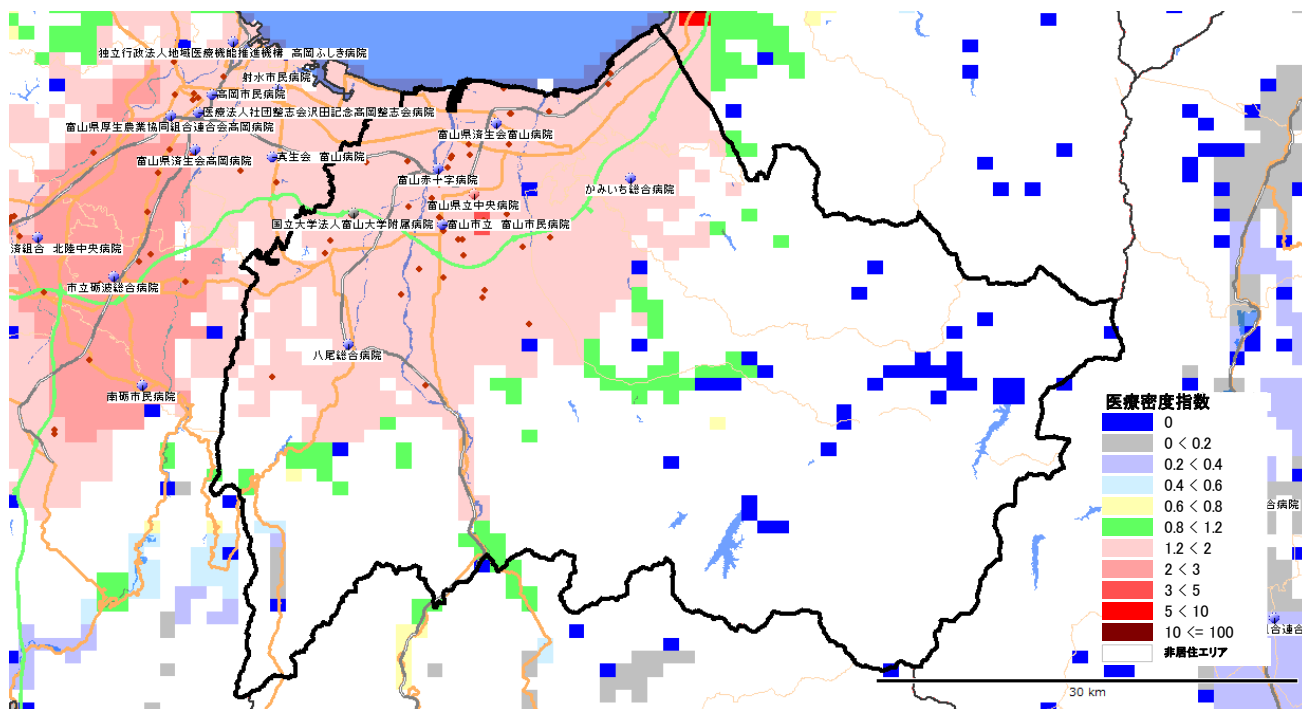
16. 富山県

2. 医療密度⁵

図表 16-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 16-2-2 慢性期医療密度指数マップ

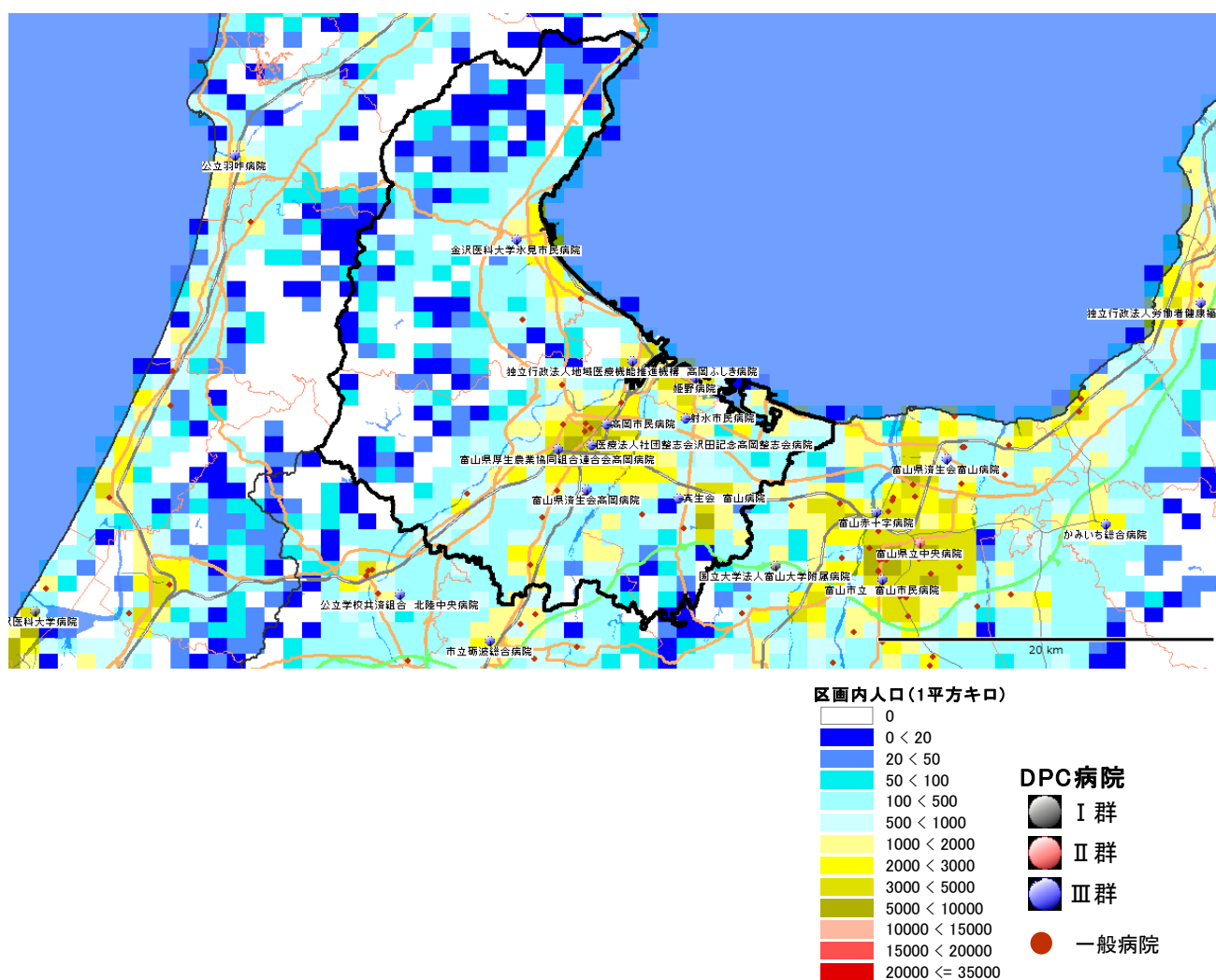


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

16-3. たかおか 高岡医療圏

構成市区町村¹ 高岡市,氷見市,射水市

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 高岡医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(高岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高岡(高岡市)は、総人口約 310 千人(2015 年推計)、面積 549 km²、人口密度は 565 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高岡の総人口は 2025 年に 283 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 235 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 48 千人が、2025 年にかけて 62 千人へと増加し(2015 年比+29%)、2040 年には 55 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高岡の一人当たり医療費(国保)は 333 千円(偏差値 55)、介護給付費は 271 千円(偏差値 56)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高岡の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.42、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.87 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 46、診療所医師数 44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 51 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 53 とやや多い。高岡には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院(救命)、1000 例以上の沢田記念高岡整志会病院、高岡市民病院、500 例以上の富山県済生会高岡病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 43 と少なく、回復期病床数は偏差値 41 と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 45 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4416 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 3343 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 1073 床(偏差値 40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4041 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 56、特別養護老人ホーム 53、介護療養型医療施設 62、有料老人ホーム 38、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 53、サ高住 46 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 38 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、325 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

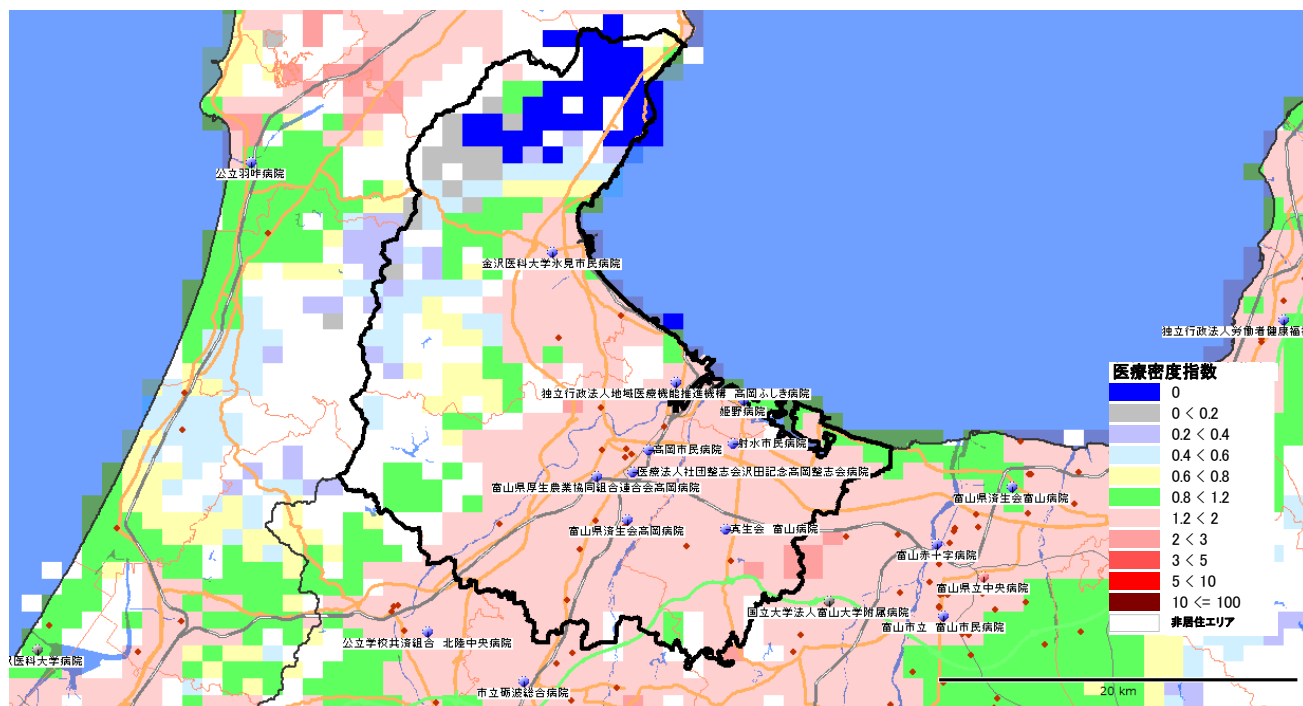
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

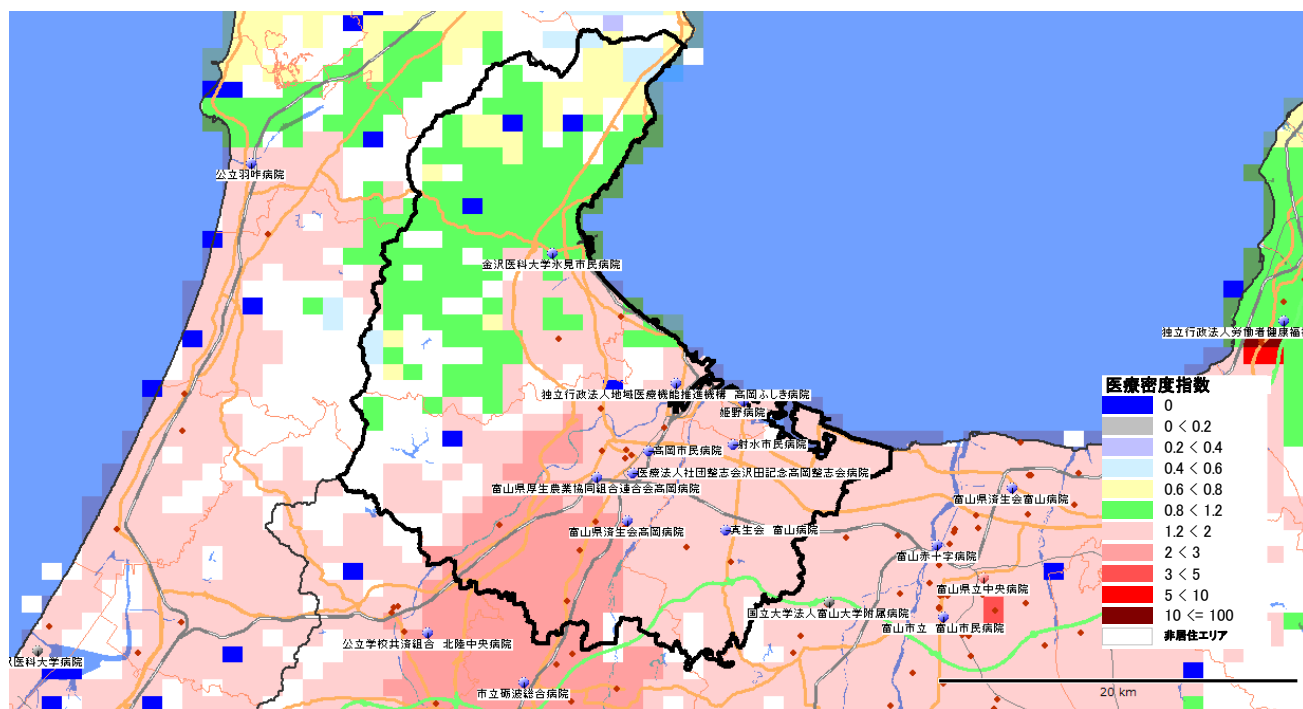
16. 富山県

2. 医療密度⁵

図表 16-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 16-3-2 慢性期医療密度指数マップ

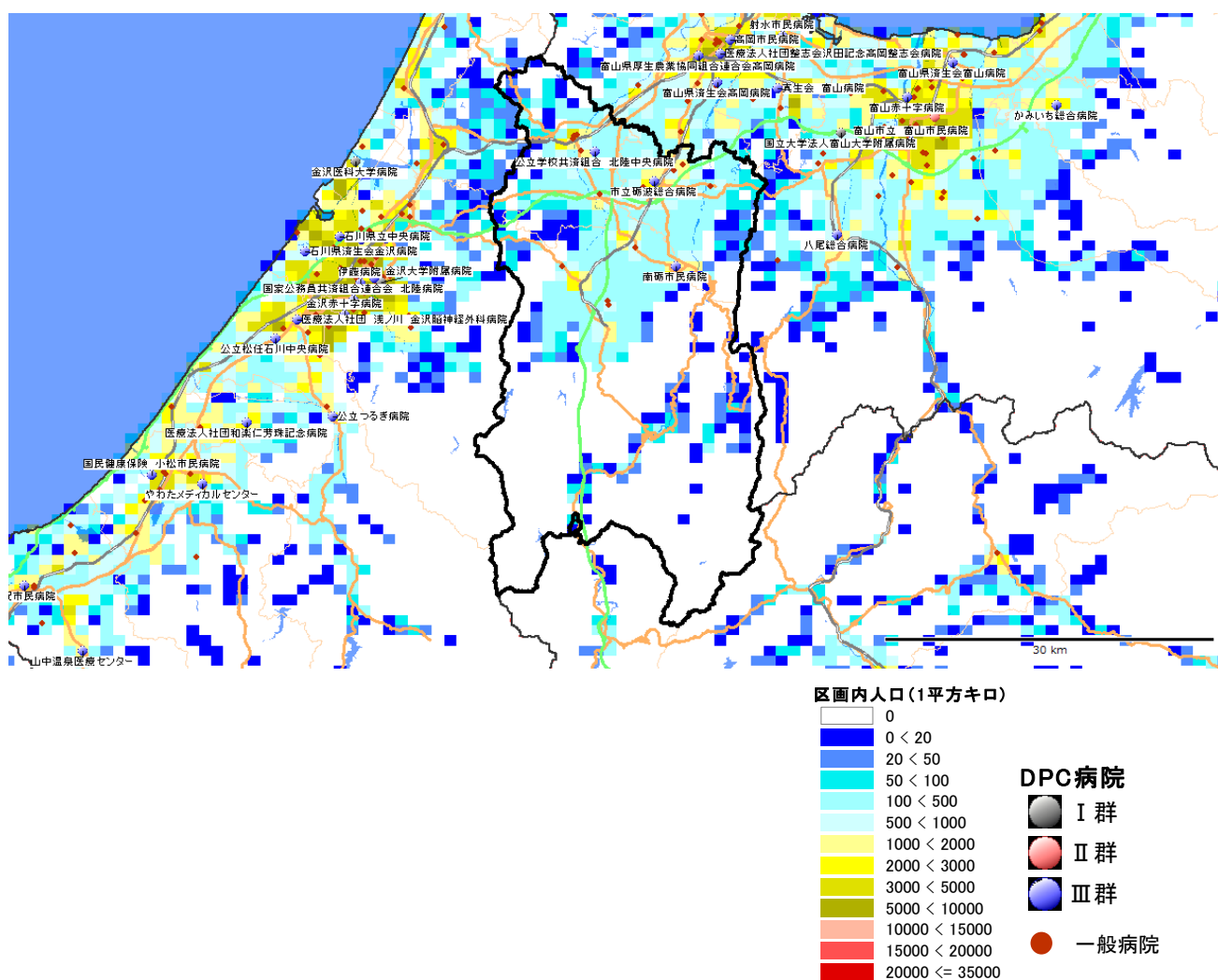


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

となみ 16-4. 砺波医療圏

構成市区町村¹ 砺波市,小矢部市,南砺市

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 砺波医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(砺波医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 砺波(砺波市)は、総人口約 131 千人(2015 年推計)、面積 930 km²、人口密度は 141 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 砺波の総人口は 2025 年に 119 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 99 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 23 千人が、2025 年にかけて 27 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 25 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 砺波の一人当たり医療費(国保)は 335 千円(偏差値 56)、介護給付費は 285 千円(偏差値 59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 砺波の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.06 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 48、診療所医師数 43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 56 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。砺波には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の市立砺波総合病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 66 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 43 と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 44 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 砺波の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2215 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1723 床(偏差値 63)、高齢者住宅等が 492 床(偏差値 39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1923 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 84、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 66、サ高住 34 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 36 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 47 とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、129 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 36)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

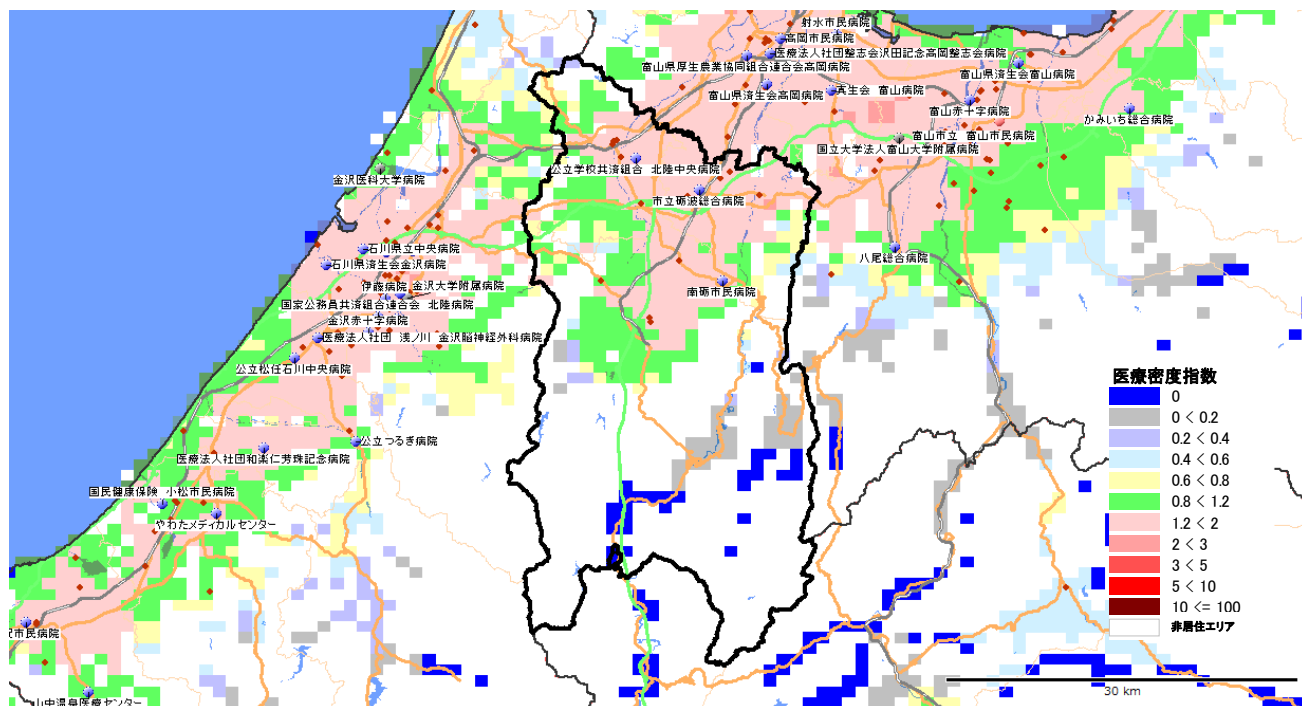
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+11%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

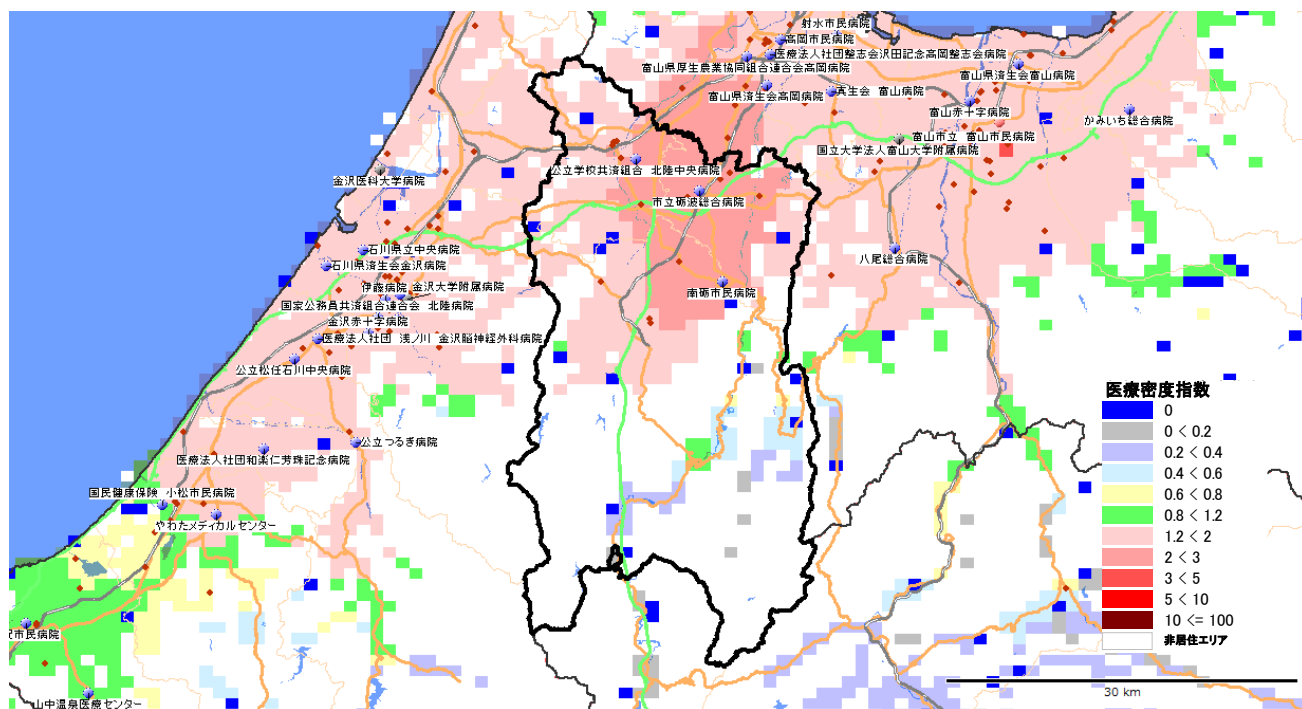
16. 富山県

2. 医療密度⁵

図表 16-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 16-4-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。